

評価シート（年度評価）

名古屋市中村文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市中村文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
利用率は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて目標値に達しなかったが、周辺地域への利用案内配布や、近隣店舗に劇場情報紙の配架を依頼するなど、利用促進につながる取り組みを行った。 施設事業では地域に密着した各種事業を実施した。「なかむら音楽会」では区役所及び地元の高校と連携して和太鼓の演奏会を開催し、出演者の活動支援と地域住民が文化に触れる機会の創出に寄与した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市南文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市南文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した。
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

新型コロナウイルス感染症の影響で催事運営に不安がある利用者に対して、内容や人数に合わせて丁寧に相談に応じたことなどが評価され、お客様満足度調査では職員の対応に関する満足度が100%となった。施設事業では地域の高校と連携して「トップバンド発表会」を開催し、地域住民の鑑賞の場、出演者の発表の機会を提供し、地域の文化活動の拠点としての役割を果たした。

なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市西文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市西文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した。
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて計画通り実施できない施設事業もあったが、動画配信への切り替えや代替事業を企画するなど柔軟に対応した。新たな取り組みとして小学校へのアウトリーチ事業を実施し、文化芸術に触れる機会の創出と劇場の認知度向上に寄与した。 また、キャンセルとなった利用可能日の発信を積極的に行ない、利用率の維持・向上に努めた。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市港文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市港文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
天井落下防止対策工事により、4月から12月末までの9か月間休館であったため、再開館後に向けて、利用受付案内や改修によるリニューアル点等の情報をDMやSNS等で発信するとともに、機関紙への掲載協力や協賛の呼びかけを実施する等、広報活動等に注力した点が評価できる。 また、お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応においては97%、施設等全般においては100%と高評価となっており、引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市天白文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市天白文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
公演等を開催するにあたり、準備や対策に戸惑う利用者に対して、事前の入念な打ち合わせ、当日の混乱や不安を軽減できるようサポートを行った点が評価できる。お客様満足度評価における、職員の対応について「とても満足」又は「満足」が100%という結果にもつながっていると考えられる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市名東文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市名東文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した。
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて利用率の目標値には達していないが、過去使用したことのある利用者への定期的なDM送付や、ピアノ発表会の参加者に本番環境での練習を提案するなど、利用率向上に向けて積極的に取り組んでいる。施設事業では、対象者に合わせてSNSや紙媒体など広報ツールを選択して、効果的に広報を行っている点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市守山文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市守山文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
主催事業の「もりやま子ども合唱団」において、感染症の流行の中でも過去最高の団員数を記録するとともに、テレビへの出演や志段味地区へのアウトリーチ、区役所イベントへの出演協力など、地域の合唱団として様々な活動を行った点が評価できる。 また、お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応においては99.5%、施設等全般においては100%と高評価となっており、引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市北文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市北文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症の影響によりホール利用率の目標値を達成できなかったが、定期的に利用している団体に対して積極的に空き情報を提供したり、利用日直前の相談にも柔軟に対応するなどして施設利用に結びつけている点が評価できる。また、ホールの空き日を利用して備品の手入れを行い利用者が快適に使用できる環境を整えたり、公演チラシに感染症対策や客席数、客席図を掲載するなどして、利用者と来場者の安心・安全な施設利用を意識した施設運営を行っている。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市緑文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市緑文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	・天井等落下防止対策工事のため休館（12ヵ月）
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
天井落下防止対策工事により、4月から3月末までの1年間休館であったため、再開館後に向けて、利用受付案内や改修によるリニューアル点等の情報をDMやSNS等で発信するとともに、地域の企業等に対して営業活動を行い、新規顧客の開拓に取り組む等、広報活動等に注力した点が評価できる。 また、主催事業において、電子チケットの導入や公演のライブ配信、駐車場での有料ダンス公演を実施する等、事業の幅が広がったと考えられるため、新しい取り組みを継続していくことを期待したい。

評価シート（年度評価）

名古屋市東文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市東文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	・天井等落下防止対策工事のため休館（12ヵ月）
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
天井等落下防止対策工事により休館していたが、ギャラリー併設という施設の特性をいかして、ギャラリー展示室において継続的に施設事業を実施することで来場者のつなぎ止めを図っており、再開館後を見据えた運営計画を実行している点が評価できる。新規事業としてギャラリー展示室で上演する朗読劇を年間4回開催し、新たな来場者の確保に努めるとともに、休館中でも市民に鑑賞の機会を提供して文化芸術による地域の活性化に貢献した。

評価シート（年度評価）

名古屋市熱田文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報 <所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市熱田文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応においては99.2%、施設等全般においては100%と高評価となっており、利用者から好評を得ている反響板の設置サービスや昨年度オーバーホールを行ったスタインウェイピアノ、ホール音響が要因の一つとなっていると考えられ、クラシック音楽向きのホールという特性を踏まえた取り組みが着実に結果へ結びついていると考えられる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市千種文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市千種文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
円形劇場であり他の小劇場の機構と異なっている点が多いため、利用者に対する説明や相談に時間をかけて丁寧に対応しており、施設の魅力を伝えることで利用率向上に努めている。 施設事業では、劇場付きのゴスペルグループ「Chikusa Round Voices」を立ち上げ、20代から60代まで幅広い層が参加する、世代を超えた市民の交流の場を創出した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市中川文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報 <所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市中川文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した。
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
市内や近隣都市の文化施設に劇場パンフレットの配架を依頼して施設の広報に努めたほか、オンライン配信を伴う利用にあたっての事前相談に丁寧に応じて利用に繋げるなど利用促進を図った。 また地元企業や団体の理解を得て、新規協賛を含めて多額の協賛金を獲得し、地域住民への鑑賞機会の提供や実演家に対する活動支援などの形で、継続的に地域に還元している点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市瑞穂文化小劇場の管理運営状況

1 基本情報 <所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市瑞穂文化小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応及び施設等全般において100%となっており、利用者からの意見に丁寧に対応する姿勢が高評価に結びついていると考えられる。引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市昭和 cultura 小劇場の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市昭和 cultura 小劇場の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年12月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応において100%と高評価となっており、引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 また、新規事業のフェス形式の音楽イベント「SHABAフェス」では、昭和 cultura 小劇場の特性であるフラットなデッキや大練習室を活用することで、3密を避け、多くのアーティストに出演してもらい、アーティストを支援するとともに、幅広い世代に音楽を楽しむ機会を提供できた点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

施設の現状

文化小劇場(15か所)

施設の現状	施設概要							
	市民の身近な文化活動の場を提供することにより、市民文化の振興に寄与するために設置された施設です。具体的には、ホールや練習室の貸出や、地域文化振興のための主催事業を実施しています。 平成27年7月に瑞穂文化小劇場、平成28年12月には昭和 cultura 小劇場が新規開館し、計15館となりました。							
	市の収支状況(千円)（3年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	915,100	83,148	998,248	30	1,716	996,502	998,248	195,946
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	利用率(15館のホール平均)		%	91.7	83.9	61.7	80.3	
	収支率(15館平均)		%	27.0	23.5	16.1	22.1	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市中区西文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市西文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
1 基本事項							・研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した(2)
(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
(6) 事故・災害等への対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理							
(1) 建物・設備の保守点検	○	○	○	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス							・ホール利用率が対前年度比、対計画値共に減少(28) ・当初計画を超える事業数を実施すると共に、前年度の 1.8 倍の施設事業入場者数を記録(28) ・フェイスブックの内容を工夫し閲覧数を前年度の 5 倍に増加(28) ・ホール利用率が対計画値比 0.8 ポイント増、対前年度比 2.9 ポイント増(29) ・3 月ホール利用率 100%を達成(30) ・開館 25 周年記念の広告協賛金を多数獲得し、新聞広告を掲載した(1)
(1) 利用実績	△	◎	◎	○	—	—	
(2) 事業実施状況	◎	○	○	○	○	○	
(3) 広報・PRの実施	◎	○	○	◎	○	○	
(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
(5) 苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	
(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	積極的な営業活動により、連携協定を結ぶ名古屋芸術大学の教員や地域の音楽教室、落語プロモーター等からの新規利用申し込みを獲得し、土日休日のホール利用率を前年度比 4.2 ポイント増となったが、平日利用の急なキャンセル等によりホール利用率は前年度実績、計画値ともに下回った。 施設事業では 9 件のアウトリーチ事業を実施し、新しい鑑賞者の掘り起こしや劇場へ足を運ぶきっかけを創出し、地域文化発信拠点としての役割に貢献した。
平成 29 年度	施設のメイン事業である「落語公演」を活用した落語会の会場としての集客力のアピールや、企業への営業活動等により、ホール利用率を対前年度比 2.9 ポイント増とした。 施設事業の室内オペラ公演では、名古屋芸術大学の学生のレベルアップ支援や卒業生である若手演奏家に活動の場を提供するとともに、敷居が高く思われがちなオペラを気軽に鑑賞できるよう低価格の入場料とすることで、市民に舞台芸術の鑑賞機会を提供した。
平成 30 年度	天井脱落対策工事による休館で 3 月のみの劇場運営であったが、休館後の利用者獲得のため過去 5 年間のホール・練習室利用者へ競合受付案内及び開館案内の年賀状を送付するなどの取り組みにより、3 月のホール利用率は 100%を達成した。 休館中は区内全域でアウトリーチ事業を実施し、地域文化の発信に貢献した。また、再開館後に実施した「室内オペラ公演」では、公募により結成した「西文化小劇場オペラ合唱団」が初めて舞台に立ち、次年度以降の活動に繋げることができた。
令和元 年度	利用率向上のため、ホールの本番利用を控えた方に練習利用のご案内を送付、SNS を利用したホール空き情報の提供、直前の利用申込みの全件受け入れ等の取り組みを行った。その結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点でのホール利用率は 86.1%で、計画値および工事休館前の平成 29 年度実績値ともに上回った。 開館 25 周年にあたり、関係企業・団体等から広告協賛金を多数獲得し、新聞広告を掲載した。これにより、幅広い地域や世代の方に施設を PR することができた。
令和 2 年度	利用率向上の取り組みとして、SNS を活用したホール空き情報の提供、本番利用を控えた方に対して練習利用のご案内等を実施した。非接触型体温計・消毒液等の新型コロナウイルス感染症対策セットの貸し出しを実施し、利用者のニーズに沿ったサービスにつとめた。

	施設事業は、開館以来実施している落語公演を継続して実施。劇場のみならず、アウトリーチ事業としても実施し、地域に根差した文化の発信拠点としての施設の運営に取り組むことができた。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて計画通り実施できない施設事業もあったが、動画配信への切り替えや代替事業を企画するなど柔軟に対応した。新たな取り組みとして小学校へのアウトリーチ事業を実施し、文化芸術に触れる機会の創出と劇場の認知度向上に寄与した。 また、キャンセルとなった利用可能日の発信を積極的に行ない、利用率の維持・向上に努めた。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
指定期間初年度の利用率は前年度実績と計画値ともに下回ったものの、翌年以降は企業等への営業活動を始めとした利用促進に努め、前年度実績と計画値を上回った。令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により計画値に達しなかった。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
利用促進策として、営業活動のほかにも施設事業の「落語公演」を活用して集客力をアピールするなど、利用率の向上に努めた。また「西文化小劇場オペラ合唱団」を立ち上げ公演を開催するなど、地域に根差した文化の発信拠点としての施設運営に取り組んだ。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市港文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団				
主な業務内容	名古屋市港文化小劇場の管理				
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目		評価区分						特記事項
		平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	
1 基本事項								
	(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
	(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
	(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
	(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
	(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
	(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理								
	(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
	(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
	(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
	(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス								・計画を大きく上回る訪問活動を実施し、協賛企業の新規獲得に繋げた(28) ・平日、土日ともに計画値を大きく上回る利用率を達成(29) ・ホール利用率が対前年度比 9.2 ポイント増(29) ・区内全小学校や近隣集合住宅へチラシを配布する等の P R を実施(30)
	(1) 利用実績	○	◎	○	○	—	—	
	(2) 事業実施状況	◎	○	○	○	○	○	
	(3) 広報・P R の実施	○	○	◎	○	○	○	
	(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
	(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
	(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等								
	(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	
	(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
	(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	施設周辺の企業等への営業活動や定期的な施設利用者に対して案内はがきを送付する等のアフターフォローに注力し、ホール利用率は目標値を上回ることができた。 また、facebook による情報発信にも力を入れ、ホール及び練習室の様子が自宅でも閲覧できるよう、360 度ビューイングを作成するなど利用者サービスの向上に努めた。 施設事業では市民参画と協同の場の創出として、劇場付きの合唱団「みんなとみなとコーラス」を立ち上げ、子どもから高齢者まで幅広い層が参加する世代を超えた交流の場を創出した。
平成 29 年度	定期的な施設利用者への利用申込時期の案内や割引サービスを活用した練習利用の案内、地元企業への営業活動等により、前年度実績を 9.2 ポイント上回る 85.8%のホール利用率を達成した。 施設事業では、昨年度発足した小学生から高齢者まで幅広い世代が参加する合唱団「みんなとみなとコーラス」の第 1 回コンサートを開催し、広く存在をアピールした。また、夏休みの子どもワークショップ等の子ども向け事業は、区内小中学校、幼稚園・保育園等に広報依頼に直接出向き、関係者と顔の見える関係づくりに努め、参加者増加に繋げた。
平成 30 年度	練習室利用者へのホール練習利用の案内や、中川法人会を通じた地元企業への営業活動等により、ホール利用率は対計画値比 9.6 ポイント増、対前年度比 0.6 ポイント増の 86.4%となり、前年度に引き続き高い利用率を達成した。 主催事業では、チラシを区内全小学校に配布する、近隣集合住宅にポスティングを実施するなどの広報に注力し、集客に結びつけた。また、今回 2 回目となる協賛金を活用した若手アーティストのステップアップ事業は、前年度に引き続き満席となり、協賛企業からも高い評価を得られ、継続的な支援に繋がっている。
令和元 年度	地元企業や利用者への利用案内を積極的に行った結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点での利用率は計画値を 3 ポイント上回った。 主催事業に関しては、区役所や小中学校、NPO 法人などとの協同実施が多く、文化芸術と地域社会を結びつける役割を果たしている。特に、地元企業との連携事業では、初年度から 3 年連続で満席となり、来場者からの高い評価を得て継続的な開催が実現している。出演者である若手アーティストに対しては報償費を増額し、内容の充実と実演家の育成を図っている。

令和 2 年度	利用を希望する団体からの要望に応じて、新型コロナウイルス感染症対策に関する相談会を行い、利用者の疑問点や不安を取り除いて安心・安全に利用できる環境を整えた。 施設事業では、未就学児とその保護者を対象とした事業の実施にあたり、保育園や幼稚園で広報したほか、他施設の類似事業でも宣伝を行うなど、対象を明確化して広報活動を実施したことで、来場者数が前年度と比較して大幅に増加しており、効果的に事業を実施できている。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	天井落下防止対策工事により、4月から12月末までの9か月間休館であったため、再開館後に向けて、利用受付案内や改修によるリニューアル点等の情報をDMやSNS等で発信するとともに、機関紙への掲載協力や協賛の呼びかけを実施する等、広報活動等に注力した点が評価できる。 また、お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応においては97%、施設等全般においては100%と高評価となっており、引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と令和3年度は計画値に達しなかったものの、指定期間の前半は、定期的な施設利用者に対する案内や営業活動の強化により高い水準で利用率を維持した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等

地元の企業や区役所、小中学校、NPO法人等と連携した事業運営を行い、文化芸術と地域社会を結びつける役割を果たしている。

利用者目線に立った施設運営が、目標値を上回る利用率や高い利用者満足度といった結果につながっていると考えられる。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市中区名東文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市名東文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
1 基本事項							・研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した(2)
(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理							
(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス							・ホール利用率が開館以来最高値を達成(28) ・年4回の休館日開館を実施、また保守点検を休館日に実施して利用の向上に努めた(28) ・追加3件を含め計45件の施設事業の実施し入場者数が1万3千人を超えた(28) ・小学校アウトリーチを1校から6校に拡充。また、愛知東邦大学との連携協定により、地域との新たな協力関係を構築(29) ・ホール利用率95.1%で対計画値比3.3ポイント増、対前年度比0.2ポイント増(30) ・天井脱落対策工事のため休館(12ヶ月)(1) ・施設的美観や利便性の向上に繋がる改善を、当初の計画以上に実施(1)
(1) 利用実績	◎	○	◎	—	—	—	
(2) 事業実施状況	◎	◎	○	◎	○	○	
(3) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	

	の目にとまる工夫を行った。 施設事業では、小学校でのアウトリーチ事業等、子どもたちに本格的な音楽を聴く機会を提供することで、音楽への興味を引き出し、将来の文化芸術に資する取り組みを実施することができた。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて利用率の目標値には達していないが、過去使用したことのある利用者への定期的なDM送付や、ピアノ発表会の参加者に本番環境での練習を提案するなど、利用率向上に向けて積極的に取り組んでいる。施設事業では、対象者に合わせてSNSや紙媒体など広報ツールを選択して、効果的に広報を行っている点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と令和3年度は計画値に達しなかったものの、平成28年度にホール利用率が開館以来最高値を達成するなど、指定期間の前半は非常に高い水準で利用率を維持した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
地域の大学との連携協定締結や、地域文化団体と共同での周年事業の実施、劇場情報誌をリニューアルして地域の情報を掲載するなど、地域に密着した劇場運営に努めた。 また利用者ニーズに合わせて休館日に開館するなど利用率向上を図ったことで、平成28年度のホール利用率は開館以来過去最高の96.2%となった。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市北文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市北文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
1 基本事項							
(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理							
(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス							・多くの地元企業等から計画以上の協賛金を獲得する等、事業の効果的・効率的な運用を行った(28) ・ホール利用率 90.7%で、対計画値比 15.7 ポイント増、対前年度比 12.9 ポイント増(30) ・天井脱落対策工事のため休館（11 ヶ月）(1)
(1) 利用実績	○	○	◎	—	—	—	
(2) 事業実施状況	◎	○	○	○	○	○	
(3) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	—	
(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	全国巡演をしている日本各地の伝統芸能や大衆演劇の団体、名古屋近隣で利用実績のない芸術文化団体へDMを送付する等、積極的に新規利用開拓に注力した結果、新規の演劇団体の利用もあり、ホールの利用率は 77.4% と計画値からは 2.8 ポイントの増となった。 また、東京方面の団体が下見に訪れる等、劇場の認知度向上に一定の効果を示した。 施設事業では、昨年度から立ちあげたジャズビッグバンドの初単独コンサートを成功させる等、市民参加型事業を通して、地域活性化に貢献した。
平成 29 年度	4月、5月の利用が低迷したことにより利用率は計画値を下回ったものの、ホール見学者に詳細な説明ができるよう管理業務員向けの案内マニュアルを作成し、舞台職員不在時の急な依頼にも対応できるようにしたことや、簡易版の施設案内等、新たに作成したツールを活用し、CFの撮影やファッションショーの練習などの新規利用を獲得した。 施設事業では、ジャズビッグバンドの安定した運営を行い、4 回の出張公演を実施したことで地域での認知度も上がり、地域の活性化に貢献した。
平成 30 年度	施設の特徴を活かした練習利用の案内やDMの送付等を積極的に行った結果、ホール利用率が対計画値比 15.7 ポイント増、対前年度比 12.9 ポイント増の 90.7%を達成した。 施設事業では、ジャズビッグバンドの地道な活動が地域に認められた結果、区役所から区のテーマ曲の作成を請け負うまでに成長し、地域の文化小劇場として区政にも貢献したことは評価できる。
令和元 年度	天井脱落対策工事により 4 月から 2 月までの 11 か月間休館のため、休館期間中は近隣私立幼稚園や保育園、音楽教室への DM 送付等を行い、再開館に向けて劇場を広く PR した。再開館後の利用率は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて目標値には届かなかったが、予約実績ではホール利用率 100%の見込みであった。 施設事業については、幼稚園や福祉施設等でのアウトリーチ事業や、地域での公演の企画・運営を通じて、休館中であっても地域の文化活動の拠点としての役割を果たした。
令和 2 年度	来場者の動線や当日運営方法等、公演ごとに試行錯誤しながら、安心・安全の運営に努めた。 施設事業では、区の新たな魅力の一つとして、地域のにぎわいづくりを担っているジャズの催しを継続して実施し、ジャズ音楽への関心を高め、地域と密着した文化の発信拠点としての役割を果たした。また、劇場であ

	まり上演する機会のなかったイリュージョンショーという新たなジャンルの公演を実施。地元出身のアーティスト支援という側面でも期待できる取り組みである。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響によりホール利用率の目標値を達成できなかったが、定期的に利用している団体に対して積極的に空き情報を提供したり、利用日直前の相談にも柔軟に対応するなどして施設利用に結びつけている点が評価できる。また、ホールの空き日を利用して備品の手入れを行い利用者が快適に使用できる環境を整えたり、公演チラシに感染症対策や客席数、客席図を掲載するなどして、利用者と来場者の安心・安全な施設利用を意識した施設運営を行っている。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
練習利用の案内やDMの送付等を積極的に行い利用率向上に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と令和3年度は計画値に達しなかった。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
定期的な利用者への空き情報提供に加えて、利用実績のない芸術文化団体へDMを送付するなど、新規利用者の獲得も意識した利用促進を行い利用率の向上に努めた。施設事業では、地域のにぎわいづくりを担っているジャズの催しを継続して実施し、ジャズ音楽への関心を高め、地域と密着した文化の発信拠点としての役割を果たした。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市緑文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団				
主な業務内容	名古屋市緑文化小劇場の管理				
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目		評価区分						特記事項
		平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	
1 基本事項								
	(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
	(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
	(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
	(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
	(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
	(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理								
	(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
	(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
	(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
	(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス								・訪問活動等によりチラシの配架先を大きく拡充(28) ・ホール利用率が対計画値比 6.6ポイント増、対前年度比 3.2ポイント増の 93.7%となり、開館以来最高値を達成(29) ・地元企業等からの協賛金のほか、施設事業の入場料収入を当初計画以上に獲得する等、事業の効率的・効果的な運営を実施(29) ・天井等落下防止対策工事のため休館(12ヵ月)(3)
	(1) 利用実績	○	◎	○	○	—	—	
	(2) 事業実施状況	○	◎	○	○	○	○	
	(3) 広報・PRの実 施	◎	○	○	○	○	○	
	(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
	(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
	(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等								
	(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	
	(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
	(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	SNS と紙媒体を活用した施設広報を同時に実施し、親子で楽しめる事業をシリーズ化して充実させた結果、ホールの利用率は、90.5%と計画値から 3.5 ポイント増となった。 また、子育て世代の多い緑区の特性をふまえ、託児用マットをロビーやホワイエ、練習室に配置し、子どもが安心して遊べるような工夫をしたことや子ども用シートクッションの貸し出しをおこなう等の利用者サービスの向上に努めた。 施設事業では、劇団みどりの創立 5 周年記念公演を成功させる等、安定的な運営を継続させ、市民参加型事業を通じた地域活性化に貢献した。
平成 29 年度	集客力の高い施設事業の継続実施による劇場の認知度向上に努めたことや、企業へのダイレクトメールや訪問活動による利用者の開拓、近隣の工事休館施設の利用者への案内等の取り組みにより、ホール利用率を対前年度比 3.2 ポイント増の 93.7%とし、過去最高の利用率を達成した。 施設事業では、子どもの割合が高い地域の特性に合わせた子ども向け事業や親子で楽しめる事業を継続実施し、市民の参画と協働の場として、劇団みどりの公演や練習室利用者の合同発表会等を実施するなど、市民が身近で文化に触れる機会を創出した。
平成 30 年度	子どもの多い地域特性にあった事業の実施、ホール利用者の公演情報を劇場情報誌に掲載するなどの利用者サービスの向上、利用者や地域企業への積極的な営業活動が実を結び、ホール利用率は 94.0%と、前年度に引き続き過去最高の利用率を更新した。 施設事業においては、劇団みどりの公演や「緑フェスタ」など、市民参画と協働の場を継続して提供するとともに、地域団体と連携した「みどり音楽祭」「有松町屋ライブ」など、事業を通じて地域活性化に貢献した。
令和元 年度	利用者への電話や対面による営業活動のほか、子育て世代が多いという地域特性を踏まえて子ども向け事業を継続的に実施し、育児世代への認知度向上に努めた。この結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点の利用率は計画値を 4.1 ポイント上回った。 施設事業では、有名アーティストを招聘したジャズピアノコンサートを開催することで、劇場の認知度を向上させるとともに、劇場へ足を運ぶ層の拡大を狙った。結果的には、初めて緑文化小劇場を訪れた来場者が約 5 割となり、新たな客層の取り込みにつながった。
令和 2 年度	施設事業では、劇場で文化芸術を鑑賞する市民の層を拡大するため、充実した内容を安価で鑑賞できる「梅田智也ピアノリサイタル」を開催した。来場者

	の 15.3%が 20 代以下の若い年齢層となり、気軽に楽しめるクラシック公演を幅広い世代に届けることができた。また、話題性のある地元の若手音楽家を出演者として起用することで、芸術家の活動を支援するとともに、市域全体からの集客を図り、音楽に適したホールとしての認知度向上にも努めた。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	天井落下防止対策工事により、4 月から 3 月末までの 1 年間休館であったため、再開館後に向けて、利用受付案内や改修によるリニューアル点等の情報を DM や SNS 等で発信するとともに、地域の企業等に対して営業活動を行い、新規顧客の開拓に取り組む等、広報活動等に注力した点が評価できる。 また、主催事業において、電子チケットの導入や公演のライブ配信、駐車場での有料ダンス公演を実施する等、事業の幅が広がったと考えられるため、新しい取り組みを継続していくことを期待したい。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度と令和 3 年度は計画値に達しなかったものの、指定期間の前半は、SNS と紙媒体を活用した施設広報や営業活動の強化により高い水準で利用率を維持した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
子どもの割合が高い地域特性に踏まえた子ども向け事業、劇団みどりの公演や練習室利用者の合同発表会等を実施するなど、市民が身近で文化に触れる機会を創出した。 また、地域団体と連携した「みどり音楽祭」や「有松町屋ライブ」など、事業を通じて地域活性化に貢献した。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市東文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市中文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
1 基本事項							・提案に対する職員配置体制の不備(30) ・研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した(2)
(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
(4) 職員体制	○	○	△	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理							
(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス							・ホール利用率が対計画値比 3.8ポイント増(29) ・平日のホール利用率は対計画値比 7ポイント増(29) ・ホール利用率 95.0%で、対計画値比 5.6ポイント増、対前年度比 1.9ポイント増(30) ・周辺施設と連携し、地域に根差した効果的な事業を展開(30) ・ホール利用率 95.6% (1月末時点)で、対計画値比 6.1ポイント増、非常に高い利用率を維持(1) ・天井等落下防止対策工事のため休館(12ヵ月)(3)
(1) 利用実績	○	◎	◎	◎	—	—	
(2) 事業実施状況	○	○	◎	○	○	○	
(3) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	
(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	積極的な訪問活動やDMの送付を行った結果、ホール利用率は93.0%で目標値から3.8ポイント増となり、前年度に引き続き高い利用率を維持した。 施設事業では、多くの事業でボランティアスタッフと協働し効率的に事業をすすめたほか、ギャラリーや東区役所、東図書館と協働でまちづくり元気サポート制度関連事業を実施し、高校生等の若い世代の活動を支援することで、若者のまちづくり参画推進に貢献した。
平成 29 年度	従来の営業活動に加え、工事休館中施設の利用者に対して営業活動を行った結果、ホール利用率は93.1%と高い利用率を維持した。 また、施設事業では、ギャラリー矢田で開催した「障がい者アーツ展」の期間中に、障がい者に舞台発表の機会を提供し、活動の支援を行う等、ギャラリー併設の劇場である特徴を最大限活用した事業が実施されている点は評価できる。
平成 30 年度	過去の利用者への電話・DMの発送や、演劇団体などへの営業活動を積極的に行った結果、ホール利用率は対計画値5.6ポイント増、対前年度比1.9ポイント増の95.0%と非常に高い水準となった。 施設事業では、今年度新たに、合築施設である東図書館と東スポーツセンターと協働して「カルポート東 秋祭り」を実施する等、施設全体の認知度を向上させるとともに、周辺施設との連携を深めた。 運営面では、提案に対する職員配置体制の不備があった。
令和元 年度	演劇団体への営業活動や、過去の利用者に対する電話やDMによる営業活動を実施した結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点でのホール利用率は95.6%と高い水準で、計画値比で6.1ポイント、前年度比で0.6ポイント上昇した。 施設事業では、各世代のニーズに沿った内容を継続的に実施することにより地域住民の来館を促し、劇場で気軽に文化芸術に触れられる環境づくりに努めている。鑑賞機会の少ない未就学児と保護者向けの事業である「ぶんしん0・1・2」では、ベビーカー置き場を設置したり、申し込み後のキャンセルを可能にするなど、子育て世代が来場しやすい工夫を凝らしている。
令和 2 年度	施設事業では、乳幼児と保護者を対象としたコンサートを複数公演実施した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて来場者数が落ち込む事業もあるなか、計画値を超える来場者となり、ニーズを把握できているといえる。またアンケート回収率を上げるため、乳幼児を抱える保護者も回答しやすいようにウェブアンケートを実施するなど、対象となる層に寄り添

	った対応ができています。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	天井等落下防止対策工事により休館していたが、ギャラリー併設という施設の特性をいかして、ギャラリー展示室において継続的に施設事業を実施することで来場者のつなぎ止めを図っており、再開館後を見据えた運営計画を実行している点が評価できる。新規事業としてギャラリー展示室で上演する朗読劇を年間 4 回開催し、新たな来場者の確保に努めるとともに、休館中でも市民に鑑賞の機会を提供して文化芸術による地域の活性化に貢献した。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
積極的な訪問活動や過去の利用者への電話・DMの送付等を行い利用率向上に努め、高い水準の利用率を維持した。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度と令和 3 年度は計画値に達しなかった。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
積極的な営業活動により、平成 29 年度から令和元年度まで各前年度実績を上回る非常に高い水準の利用率を維持した。 施設事業では、合築施設であることをいかして東図書館、東スポーツセンターと協働して事業を行い、周辺施設との連携を深めて劇場の認知度向上に寄与した。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市熱田文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団				
主な業務内容	名古屋市熱田文化小劇場の管理				
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目		評価区分						特記事項
		平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	
1 基本事項								・研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した(2)
	(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
	(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
	(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
	(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
	(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
	(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理								
	(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
	(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
	(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
	(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス								・ホール利用率が対計画値比 3.0 ポイント増、対前年度比 4.6 ポイント増の 97.7%と、開館以来最高値を達成(29) ・ホール利用率が対計画値比 1.9 ポイント増の 96.6%で、非常に高い利用率を達成(30)
	(1) 利用実績	○	◎	◎	○	—	—	
	(2) 事業実施状況	○	○	○	○	○	○	
	(3) 広報・PRの実 施	○	○	○	○	○	○	
	(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
	(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
	(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等								
	(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	
	(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
	(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	本番利用を控えた利用者への練習利用案内をする等の営業活動を行い、ホールの利用率は 93.1%と前年度に引き続いて高い利用率を維持した。 施設事業では、音楽向けホールという特徴を活かして、若手音楽家を積極的に起用した事業を展開し若手音楽家の育成に寄与した。また、市民の参画と協同の場として「あつたモーニングコンサート」や「カウントダウンコンサート」を実施する等、文化事業を通して地域に賑わいをもたらすとともに、地域活性化に貢献した。
平成 29 年度	ホール利用率については、ダイレクトメールによるホールの練習利用の案内や、空き情報の提供による利用促進ほか、直前の利用申し込みへの積極的な対応により、利用率 97.7%を達成。開館以来最も高いホール利用率となった。 施設事業では、音楽向けホールという特徴を活かした鑑賞事業の充実をはじめ、若い音楽家を育成するための吹奏楽や菊里高校との共催による公開レッスン事業を行うなど、若手音楽家の育成に精力的に取り組んだ。
平成 30 年度	ホールの本番利用を控えた方向けに練習利用のご案内を送付、SNS を利用した空き情報の提供、直前の利用申し込みの全件受け入れ等により、ホール利用率は前年度実績には届かなかったが、計画値を 1.9 ポイント上回る 96.6%と非常に高い利用率を達成した。 施設事業では、14 年目となる「あつたモーニングコンサート」が好評である。また、区役所や名古屋学院大学といった地域の団体と連携して事業を行い、地域文化発信の拠点としての役割を果たした。
令和元 年度	利用率が高い劇場という点を踏まえ、舞台保守点検を休館日に行う等により利用機会を増やす取り組みを継続してきた結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点でのホール利用率は 94.5%と高い利用率を維持した。また、積極的な営業活動の結果、新規に地元企業からの協賛金を 3 件獲得することができた。 施設事業では、平成 17 年度から継続して実施している「あつたモーニングコンサート」の累計入場者数が 18,000 人を超え、質の高いクラシック音楽を廉価で気軽に市民に鑑賞していただく機会を提供するという事業目的を十分に果たしていると言える。
令和 2 年度	天井落下防止対策工事により 4 月から 3 月 15 日までの 11 か月間半休館のため、再開館後に向けて利用案内の DM 送付やホームページ等で空き状況を定期的に発信するなど、広報活動に注力した。 休館中は、アウトリーチ事業として小学校でオペラ歌手によるミニコンサートを開催して、子どもたちに生の歌声を鑑賞する機会を提供し、声楽への興味

	を持ってもらうきっかけを作った。また、小劇場を訪れたことがない子どもたちに対して、小劇場の存在や活動をPRすることができた。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和3年度	お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応においては99.2%、施設等全般においては100%と高評価となっており、利用者から好評を得ている反響板の設置サービスや昨年度オーバーホールを行ったスタインウェイピアノ、ホール音響が要因の一つとなっていると考えられ、クラシック音楽向きのホールという特性を踏まえた取り組みが着実に結果へ結びついていると考えられる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と令和3年度は計画値に達しなかったものの、指定期間の前半は、ホールの本番利用を控えた方に練習利用の案内やSNSを利用した空き情報の提供により非常に高い水準で利用率を維持した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
ホールの本番利用を控えた方向けの練習利用の案内送付、SNSを利用した空き情報の提供、直前の利用申込みの全件受け入れ等により、高い利用率を達成した。 クラシック音楽向きのホールという特性を踏まえ、若手音楽家を積極的に起用した事業を展開し若手音楽家の育成に寄与した。また、「あつたモーニングコンサート」や「カウントダウンコンサート」等、文化事業を通じた地域活性化に貢献した。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市昭和 cultura 小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市昭和和文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目		評価区分						特記事項
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
1 基本事項								・施設利用申込書類に不備あり(28)
	(1) 平等利用	△	○	○	○	○	○	・研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した(2)
	(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
	(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
	(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
	(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
	(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理								・非常に高いホール利用率を達成(28)
	(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
	(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
	(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
	(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス								・子どもミュージカル劇団「show-Wa!」が年間通して活動し、旗揚げ公演も好評で追加回を実施(29)
	(1) 利用実績	◎	○	○	◎	—	—	・地域情報誌での定期掲載、公演取材の掲載の他、町内会や小学校等で広くPRを実施(29, 30)
	(2) 事業実施状況	○	◎	○	◎	○	○	・ホール利用率 97.2% (1 月末時点)で、非常に高い利用率を達成(1)
	(3) 広報・PRの実 施	○	◎	◎	○	○	○	・子どもミュージカル劇団「show-Wa!」が初のオリジナル作品を上演し、アウトリーチ活動も実施するなど、地域に愛される劇団として成長(1)
	(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	・新規事業として、発達障がい児に劇場を体験してもらう映画会を開催(1)
	(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
	(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等								・利用料金の徴収で不備あり(28)
	(1) 執行状況	△	○	○	○	○	○	
	(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	

(3)再委託	○	○	○	○	○	○
年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）						
平成 28 年度	新規開設館という事で注目の高い開館直後の時期に合わせて施設のPRを行ったほか、地元の楽器店や各種教室等への営業に力をいれた結果、ホール利用率は目標値を大幅に上回る 97.6%を達成した。施設事業では、施設の基本コンセプトである防災を意識した避難訓練コンサートを実施したほか、質の高い演劇公演に区内の小中学生を無料招待し、子どもが文化芸術に触れる機会を創出した。 また、劇場付の子どもミュージカル劇団の立ち上げに向けた参加者の募集を行っており、29 年度からの活動に期待したい。					
平成 29 年度	開館準備期間から行ってきたホームページや Facebook での情報発信、地元情報誌でのPR等により、ホール利用率は前年度実績には届かなかったが、計画値を 15.3 ポイント上回る 92.3%と高い利用率を維持した。 施設事業では、今年度立ち上げた「子どもミュージカル劇団 show-Wa!」は団員募集時より地域からの注目も高く、旗揚げ公演も追加回を設ける等、活動初年度より地域に広く認知される存在となった。また、区との共催事業である区民ふれあい芸術祭をはじめ、地域との連携や地域ニーズにあった事業を実施し、地域の活性化に貢献した。					
平成 30 年度	平日の利用促進のため、ホールの本番利用を控えた方に練習利用のご案内を実施、劇場近隣の企業に内部研修会や講演会等での利用をPRする等の営業活動により、ホール利用率は 93.9%と前年度実績・計画値共に上回り、高い利用率を維持した。 施設事業では、昨年度立ち上げた「子どもミュージカル劇団 show-Wa!」が好評で、公演は毎回完売となり、アウトリーチ活動も開始するなど活動の場を拡大した。また、チラシによる主催事業の広報を町内会や区内小学校向けに実施することで、集客に結びつけた。					
令和元 年度	平日の利用促進のため、ホールの本番利用を控えた方に練習利用のご案内、近隣の企業に内部研修会や講演会等での利用のご案内等を実施した。この結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点でのホール利用率は 97.2%と非常に高い利用率を達成した。 施設事業では、3 年目となる子どもミュージカル劇団「show-Wa!」が初のオリジナル作品を制作・上演した。区民まつりへの参加などアウトリーチ活動も実施しており、地域に愛される劇団として成長している。また、新規事業として、障がい者が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的に、発達障がい児に劇場を体験してもらう「センサリーフレンドリー映画会」を開催し、好評を得た。					

令和 2 年度	利用者の満足度調査の結果について、職員の対応の評価は「とても満足」「満足」を合わせると 100%を達成。公演当日まで丁寧に対応・相談に乗ることが、利用者の不安解消につながった。 施設事業である子どもミュージカル劇団「show-Wa!」ではタブレット型字幕サービスを導入し、聴覚障がいのある方や外国人の方等が参加しやすくなるよう、試行的な取り組みを実施した。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応において 100%と高評価となっており、引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 また、新規事業のフェス形式の音楽イベント「SHABA フェス」では、昭和文化小劇場の特性であるフラットなデッキや大練習室を活用することで、3密を避け、多くのアーティストに出演してもらい、アーティストを支援するとともに、幅広い世代に音楽を楽しむ機会を提供できた点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度と令和 3 年度は計画値に達しなかったものの、指定期間の前半は、ホールの本番利用を控えた方に練習利用の案内や営業活動の強化により高い水準で利用率を維持した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
平日の利用促進のため、ホールの本番利用を控えた方に練習利用の案内、劇場近隣の企業に内部研修会や講演会等での利用のPR等の営業活動により、高いホール利用率を維持している。 また、子どもミュージカル劇団「show-Wa!」について、積極的に公演を行うだけでなく、区民まつりへの参加などアウトリーチ活動も実施しており、地域に愛される劇団として成長している点が評価できる。